

参考資料

平成29年度実施  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果からみた  
公民館地区29地区ごとの特徴

介護予防・日常生活支援総合事業の進捗管理や事業評価のために必要な地域診断を行うために、平成 29 年度に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。

この調査は、「要介護認定がない方」と、「要支援 1」「要支援 2」の認定を受けている方 35,513 人から抽出した 7,791 人を対象とし、5,230 人の回答があり（回収率は、67.1%）、比較的高い回収率となっています。

### 地区ごとにみた分析結果の特徴（概要）

公民館単位を基本とした 29 の地区ごとの特徴です。介護予防・日常生活支援総合事業の実施や地域での課題解決に対しての有用な指標であり、地域それぞれの社会資源の活用も勘案しながら、地区ごとの特性に応じた取組を進めていきます。

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
啓成	<p>平均年齢が高く、独居の者が多い。 介護を受けている者が多く、また介護が必要だが受けていない者も多い。高血圧、筋骨格系疾患、心臓病の有病割合が高い。運動機能の介護予防対象者が多い、口腔機能の予防対象者が多い、日常生活状況の問題に該当する項目が多い、うつ傾向の該当者が多い、※1 基本チェックリスト 10 項目以上に該当する人が多い。 ※2 事業対象者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 脳卒中、関節疾患、糖尿病、視覚聴覚障害で介護が必要になる者が少ない。 家族や友人以外で相談相手がいない者が少ない。 毎日飲酒する人が少ない。</p> <p>※1 基本チェックリストとは、介護の原因となりやすい生活機能の評価を行う質問票 ※2 事業対象者とは、基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた者</p>	<p>前回から課題の多い地区です。 有する疾患に配慮しつつ、独居や高齢者を対象に生活面、身体機能面の機能を維持する予防が必要です。 うつ傾向に対して精神面の対策も考慮する必要があります。</p>
明道	<p>平均年齢高く、独居の者が多い。社会参加の低い該当項目が多い。人づきあいが少ない者が多い。健康度自己評価低い。主観的幸福感が低い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 脳卒中、関節疾患での介護少ない。 病気、経済的理由で外出しない者少ない。 自分で車を運転して外出する者少ない。 物忘れ、認知機能低下該当者少ない。毎日飲酒者少ない。現在、脳卒中、心臓病、がん、耳の病気のある者少ない。</p>	<p>独居が多く、社会参加も少ないため、孤立しないような支援を促し、健康度自己評価や幸福感を高める対策が重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
就將	<p>90 歳以上の割合が高い。要介護原因に糖尿病が多い。転倒の不安が多い。足腰の痛みによる外出控え、バスや電車で外出と日用品の買い物ができるがしていない割合高い。社会参加低い項目の該当数がやや多い。老人クラブへの参加が少ない。愚痴を言ったり聞いたりしてくれる者がいない。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            要介護原因に心臓病、認知症、骨折転倒が少ない。            15 分続けて歩けない者少ない。            暮らし向き苦しい者が少ない。物忘れが多いと感じる者少ない。            IADL（外出、食事準備）できない者が少ない。            収入ある仕事に参加していない者が少ない。            主観的健康観が低い者が少ない。            心臓病、うつ病で治療中の者が少ない。</p>	<p>自立性を促し、運動機能や社会機能を維持することが重要です。            また人と人のつながりを作る取組が重要です。</p>
義方	<p>独居の者が多い。グループ活動の参加頻度が少ない者が多い。人づきあい少ない者が多い。筋骨格系疾患、心臓病の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            経済的理由で外出しない者が少ない。            自分で車の運転をして外出する者が少ない。            家族や友人以外で相談相手がいない者が少ない。            糖尿病で治療中の者が少ない。            栄養機能チェックに該当する者が少ない。</p>	<p>人と人のつながりを作る取組が重要です。</p>
住吉	<p>バスや電車で外出できるがしない者多い。筋骨格系疾患の有病割合が高い。愚痴を聞いてくれる者が少ない。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            要介護理由に骨折転倒が少ない。            暮らし向き苦しい者が少ない。            転倒経験が少ない。            外出しない者が少ない。            お茶でむせる者少ない。            物忘れが多いと感じる者が少ない。            食事の準備できない人少ない。            うつ病治療中の者が少ない。</p>	<p>自立の促し、疾病対策が必要です。</p>
車尾	<p>介護理由で高齢による衰弱、骨折転倒、心臓病が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            要介護原因に関節疾患が少ない。            毎日入れ歯の手入れしない者が少ない。            食事の用意できない者が少ない。            新聞・雑誌を読んでない者が少ない。            家族や友人の相談に乗らない者が少ない。            グループ活動の参加頻度の低い者が少ない。            主観的幸福度の低い者が少ない。</p>	<p>疾病対策、転倒予防対策が必要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
加茂	<p>外出頻度が週1回以下の該当者がやや多い。  自分で電話番号調べてかけない者がやや多い。  日用品の買い出しや預貯金の出し入れできがしてない者多い。生き甲斐がない者多い。  老人クラブに参加していない者が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>  介護を受けている者が少ない。  階段を手すりなしで登れない者が少ない。  足腰の痛み、経済的理由で外出控える者少ない。  主観的幸福度が低い者が少ない。  高血圧、うつ病で治療中の者が少ない。</p>	<p>自立を支援し、地域活動の参加等を促し交流を高めることが重要です。</p>
河崎	<p>要介護理由が視覚聴覚障害の者が多い。  昨年より外出がととても減っている者が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>  介護の原因が心臓病、糖尿病、高齢による衰弱が少ない。階段手すりなしで登れない者少ない。  15分歩けない、転倒不安、転倒経験の者少ない。  外での楽しみない者少ない。  IADL（外出、食事準備、金銭管理）できない人少ない。  脳卒中の治療中の者が少ない。  事業対象者、運動機能低下、認知機能低下の者が少ない。  →運動機能はいいが、外出が減っている</p>	<p>疾病対策と地区活動を通じた交流を高めることが重要です。</p>
福生東	<p>独居、高齢夫婦2人世帯の者が多い。  介護必要だが受けていない者が多い。（前回も指摘）  介護理由は高齢による衰弱や骨折転倒が多い。  転倒の不安やや大きい者、外出頻度がととても減っている者が多い。  口の渇きが気になる者、噛み合わせが悪い者多い。老人クラブへ参加していない者が多い。  脂質異常症の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>  介護の原因に糖尿病の者が少ない。  椅子つかまらずに立ち上がれない者、15分歩けない者が少ない。  毎日歯磨きしない者が少ない。  IADL（買い物、金銭管理）できない者が少ない。  生きがいが少ない者が少ない。  うつ病で治療中の者が少ない。  基本チェックリスト10項目該当者が少ない。  閉じこもり該当者が少ない。</p>	<p>高齢化、介護力不足が懸念されます。  転倒予防のための運動や口腔機能などの予防対策、グループ活動など交流促進策が重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
福生西	<p>独居の者が多い、介護受けている者が多い。 介護必要だが受けていない者が多い。 社会参加の頻度が低い該当項目が多い。人づきあい少ない者が多い。健康度自己評価が低い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に心臓病、認知症の者が少ない。 毎日入れ歯の手入れしない者が少ない。 主観的幸福度低い者が少ない。 毎日飲酒する者が少ない。 呼吸器疾患、目の病気で治療中の者が少ない。</p>	<p>前回最も課題の多かった地区です。 適切な介護サービス分配や閉じこもり対策、人と人の交流促進策等が必要です。</p>
福米東	<p>平均年齢が高い。 やせ（BMI18.5未満）多い。（前回も指摘あり） グループ活動の参加頻度が低い者が多い。 毎日喫煙者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に認知症、転倒骨折が少ない。 健康記事や番組に関心が無い者が少ない。 高血圧で治療中の者が少ない。 口腔機能低下の該当者が少ない。</p>	<p>栄養対策に加え、人と人のつながりを作る取り組みが重要です。 禁煙対策も重要です。</p>
福米西	<p>介護が必要だが受けていない者が多い。 閉じこもり傾向対象者多い。 口腔機能低下対象者多い、やせている者（BMI18.5未満）が多い。 認知機能低下対象者多い。 グループ活動の参加頻度少ない者多い。 人づきあい少ない者多い。 基本チェックリスト10項目以上該当者が多い。 事業対象者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に認知症が少ない。 転倒経験が少ない。 毎日飲酒する者が少ない。 認知症で治療中の者が少ない。</p>	<p>課題の多い地区です。 事業対象者への対策が重要であり、閉じこもり、口腔機能維持、栄養、認知機能等の対策が必要です。 人と人の交流促進策が重要です。</p>
五千石	<p>要介護理由は心臓病が多い。（前回から指摘あり） 運動機能低下の該当者が多い。 外出控えの理由で交通手段がない者が多い。 主観的幸福感が低い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 週1回外出しない、外出頻度減った者が少ない。 経済的理由で外出しない者が少ない。 毎日歯磨きしない者が少ない。 IADL（食事用意、金銭管理）出来ない者が少ない。 趣味、生きがいがない者が少ない。 グループ活動に参加しない者が少ない。 毎日飲酒、喫煙する者が少ない。 呼吸器疾患で治療中が少ない。</p>	<p>引き続き心臓病対策が必要です。 交通手段に対するサポートで外出を促し、運動機能を維持すること、精神面での援助が重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
尚徳	<p>介護を受けている者多い。 要介護理由に認知症が多い。 閉じこもり傾向の者が多い。 日常生活状況の問題に該当する項目が多い。 社会参加の該当項目多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護原因脳卒中少ない。 転倒経験少ない。 毎日歯磨きしない、入れ歯の手入れしない者少ない。 生き甲斐がない者少ない。 毎日飲酒する者少ない。 うつ状態該当者少ない。 →閉じこもり、社会参加のリスク指摘あるが、うつ傾向は少ない。</p>	<p>認知症対策。閉じこもり対策や日常生活の自立支援が重要です。 人と人の交流を通し社会参加につなげる事も重要です。</p>
成実	<p>毎日、飲酒者の割合が高い。 心臓病の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 独居の者が少ない。 外出が減っている者が少ない。 社会参加の頻度が低い者が少ない。 人付き合いが少ない者が少ない。 主観的健康観が低い者が少ない。 高血圧、筋骨格系疾患で治療中の者が少ない。 口腔機能低下の該当者が少ない。 うつ傾向の該当者が少ない。</p>	<p>心臓病対策、アルコール摂取に対する対策が重要です。</p>
彦名	<p>介護が必要だが受けていない者が多い。 要介護の理由で関節疾患が多い。 運動機能低下の該当者が多い。 転倒経験多数の者が多い。 閉じこもり傾向の該当者が多い。 うつ傾向の該当者が多い。 高血圧、糖尿病の有病割合が高い 事業対象者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護原因に認知症が少ない。 物忘れの項目に該当する者が少ない。 うつ病、認知症で治療中の者が少ない。 栄養状態低下に該当する者が少ない。 →認知症、うつ病のリスクが高く、予防の重要性が高い。</p>	<p>課題の多い地区です。 動脈硬化予防対策、運動機能の維持や転倒予防などロコモ対策が重要です。 閉じこもりやうつ傾向も懸念され交流活性化が重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
<p>崎津</p>	<p>介護受けている者が多い。 介護理由は高齢による衰弱、骨折転倒が多い。 IADL（外出、食事の用意、金銭管理）該当する項目が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に認知症が少ない。 外出控えて交通手段が無い者が少ない。 グループ活動参加の頻度が低い者が少ない。 主観的幸福度の低い者が少ない。 喫煙者が少ない。がんで治療中の者が少ない。 栄養、口腔機能低下の者が少ない。</p>	<p>ロコモ対策が重要です。 生活に支援を要する方が者多くなっています。</p>
<p>大篠津</p>	<p>要介護理由で心臓病と視覚聴覚障害が多い。 転倒経験1度ある者が多い。 腎臓前立腺疾患の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 事業対象者の割合が少ない。 低栄養の傾向の者が少ない。 運動機能低下に該当する者が少ない。 うつ傾向の者が少ない。 閉じこもり傾向の者が少ない。 基本チェックリスト10項目以上該当する者少ない。主観的健康度が低い者が少ない。 主観的幸福度の低い者が少ない。</p>	<p>心臓病など疾病対策、ロコモ対策が重要です。</p>
<p>和田</p>	<p>要介護理由で脳卒中と糖尿病多い。 IADL（外出、買い物、金銭管理）該当する項目が多い。 糖尿病の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 介護が必要だが受けてない者が少ない。 生きがいが無いもの少ない。 グループの活動参加頻度（特に老人クラブ、町内会）低い者が少ない。 人付き合い少ない者が少ない。 うつ病で治療中の者が少ない。 事業対象者少ない。 基本チェックリスト10項目該当が少ない。うつ傾向の該当者が少ない。</p>	<p>糖尿病重症化対策と脳卒中対策が必要です。 生活に支援を有する方が多く、今後も継続していくことが重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
富益	<p>高齢の夫婦2人暮らしが多い。 要介護理由は脳卒中が多い。 体重減少の者が多い。 IADL（買い物、金銭管理）該当する項目が多い。 グループ活動の参加頻度が低い者多い。 基本チェックリスト10項目以上該当者が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に認知症が少ない。 暮らし向き苦しい者が少ない。 趣味がない者が少ない。 認知症で治療中の者が少ない。 認知機能低下の該当者が少ない。</p>	<p>高齢者のみの世帯が多いため生活に支援を要する方が多くなっています。 脳卒中对策や交流促進策での介護予防が重要です。</p>
夜見	<p>要介護理由に脳卒中が多い。 グループ活動の参加頻度が低い者が多い。 外出控えの理由に経済的理由が多い。 健康度自己評価が低い。 毎日喫煙する者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 介護を受けている者、必要な者が少ない。 介護の理由で高齢による衰弱が少ない。 椅子からつかまらずに立ち上がれない者、転倒、閉じこもりに該当する者が少ない。 うつ病、認知症で治療中の者が少ない。 事業対象者、運動機能低下の該当者が少ない。</p>	<p>脳の疾患を中心とした疾病対策と禁煙対策が重要です。 交流促進策で主観的健康度を上げる取組も重要です。</p>
巖	<p>転倒経験多数の者が多い。（前回も指摘あり） 外出控えの理由で交通手段がない者、外での楽しみない者が多い。 認知機能低下の該当者が多い。 高血圧の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由で高齢による衰弱が少ない。 外出を控える者が少ない。 主観的健康観が低い者が少ない。 事業対象者が少ない、口腔機能低下該当者少ない。基本チェックリスト10項目該当者少ない。うつ傾向の該当者が少ない。</p>	<p>高血圧対策、認知症、転倒予防に着目した口コモ対策が重要です。 閉じこもり対策としての交通手段も考慮することが必要です。</p>



地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
春日	<p>要介護理由に視覚聴覚障害多い。 体重減少の者が多い。主観的幸福感が低い。 糖尿病の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 独居の者が少ない。運動機能低下に該当する者が少ない。閉じこもり該当者が少ない。 外での楽しみない者が少ない。 IADL（買い物、金銭管理）出来ない者が少ない。社会参加の頻度が低い者が少ない。 生きがいが無い者が少ない。グループ活動の参加頻度が低い者が少ない。 主観的健康観低い者少ない。 呼吸器疾患、がん、認知症で治療中の者が少ない。口腔機能低下該当者、基本チェックリスト10項目該当者、閉じこもり該当者が少ない。</p>	<p>糖尿病対策、栄養対策が重要です。 閉じこもりや精神面の健康不安が懸念され、交流促進対策も大切です。</p>
大高	<p>暮らし向き苦しい者が多い。 体重減少の者が多い。 IADL（食事の用意、買い物）できるがしていない者の割合が高い。 毎日飲酒者の割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 要介護理由に高齢による衰弱が少ない。 趣味がない者が少ない。 主観的幸福感が低い者が少ない。 高血圧、呼吸器疾患、筋骨格系疾患、がんで治療中の者が少ない。 認知機能低下、うつ傾向の該当者が少ない。</p>	<p>経済的不安あり、日常生活の援助が必要です。 栄養管理やアルコール摂取対策も重要です。</p>
県	<p>高齢の夫婦2人暮らしが多い。 暮らし向き苦しい者が多い。（前回から指摘）階段の手すり使わずに昇ることを出来るのにしていない者多い。 脂質異常、がんの有病割合多い。 日用品の買い物や食事の用意をできるがしていない。 今日が何日かわからないもの多い。 経済的理由で外出を控える者多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b> 事業対象者の割合が少ない。 口腔機能低下のチェックに該当する者の割合は少ない。 運動機能障害のチェックに該当する者の割合は少ない。 主観的幸福感低い者の割合が少ない。</p>	<p>経済状況を配慮した生活支援や閉じこもりの対策、がんの疾病対策、認知症、口コモ対策が重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
永江	<p>高齢の夫婦2人暮らしが多い。  外出控えの理由で交通手段がない者多い。  毎日飲酒者の割合が高い、毎日喫煙者が多い。  (前回も指摘あり)  がんやうつ病の有病割合が高い。  うつ傾向の該当者が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>  要介護理由に認知症、糖尿病が少ない。  物忘れの項目に該当する者が少ない。  生きがいが無い者が少ない。  グループ活動参加頻度(スポーツ、ボランティア、老人クラブ)が少ない者が少ない。  認知症で治療中の者が少ない。  運動機能低下該当者、閉じこもり該当者、認知機能低下の該当者が少ない。</p>	<p>がんの疾病対策、精神面での健康問題が強く見られる特徴があり、必要な対策が望まれます。  喫煙や飲酒の対策も重要です。</p>
淀江	<p>要介護の理由で関節疾患が多い。  階段の手すり使わずに昇ったり、15分以上歩くことをできるがしていない者が多い。転倒やや不安な者が多い。  外出を控える理由で足腰の痛みが多い。  固いものが食べにくくなった者が多い。(前回から指摘)  今日が何日かわからない者が多い。  食事の用意ができるがしていない者が多い。  学習教養サークルの参加者が少ない。  呼吸器疾患や認知症(前回から指摘あり)の有病割合が高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>  要介護理由に糖尿病が少ない。  転倒経験者が少ない。  グループ活動参加頻度(老人会、町内会)が少ない者少ない。  喫煙者が少ない。  うつ病、糖尿病で治療中の者が少ない。  運動機能低下、低栄養の傾向、基本チェックリスト10項目、閉じこもり該当者が少ない。</p>	<p>認知症施策、口コモ対策、口腔機能向上の対策が重要です。  地区活動への参加を促す取組も重要です。</p>

地区	他地区と比較して該当が多かった主な項目と強味として判断したところ	取り組むべき課題
宇田川	<p>要介護の原因で認知症（前回も指摘）、透析が多い。            転倒経験多数の者が多い。（前回も指摘）            歯磨き毎日しない、義歯の手入れしない者多い。            IADL 項目（買い物、食事の用意）できるがしていない者が多い。            友人の相談に乗る、趣味を持つなどの社会参加が少ない。（前回も指摘）            スポーツ、趣味、公民館などグループ活動の参加が少ない者が多い。            腎臓・前立腺疾患の有病率が多い。            基本チェックリスト 10 項目以上該当、認知機能低下の該当者が多い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            独居の者が少ない。            介護の理由に関節疾患、糖尿病、骨折転倒が少ない。暮らし向き苦しい者が少ない。外出控える者が少ない。人付き合いの少ない者が少ない。            心臓病、呼吸器疾患で治療中の者が少ない。            栄養機能低下、うつ傾向の該当者が少ない。</p>	<p>課題の多い地区です。            認知症対策、運動機能向上策特に重要です。            口腔機能対策や交流促進対策も大切です。            生活の自立を支援できる対策が必要です。</p>
大和	<p>要介護理由に心臓病、脳卒中、糖尿病が多い。            過去 1 年間に転倒した経験が 1 度ある者や転倒の不安ある者が多い。            経済的理由での外出を控える者が多い。            口腔機能低下の該当者が多い。            やせ（BMI18.5 未満）が多い。家族や友人以外で相談できる者がいない者が多い。            毎日喫煙する者の割合が高い。（前回も指摘）            心臓病、糖尿病（前回も指摘）、がんの有病割合が高い。事業対象者の割合高い。</p> <p><b>【強みと判断したところ】</b>            介護を受けている者が少ない。            介護の理由で認知症、高齢による衰弱が少ない。            暮らし向き苦しい者が少ない。            IADL（交通機関利用、買い物、金銭管理）できない者が少ない。            うつ病、認知症で治療中の者が少ない。            運動機能低下、閉じこもり、うつ傾向の該当者が少ない。            地域活動に「参加者」として参加する意欲ある者が多い。            地域活動に「主催者」として参加する意欲ある者が多い。</p>	<p>脳卒中、心臓病、糖尿病など動脈硬化疾患の予防対策、禁煙対策、ロコモ対策、口腔機能や栄養の対策、人と人のつながりを作る取組が重要です。</p>